



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集中

美心会だより

こころ温まる、ちょっといい話

ロイホのハンバーグ

「泣きました」「すごくいい話」...食べログ

投稿に感動広がる

「日本思い出のハンバーグ」

これは、ある外国人男性が、飲食店情報サイト「食べログ」に寄せた口コミ投稿のタイトルだ。

ロイヤルホスト八丁堀店（東京都中央区）で食べたハンバーグの感想をつづった書き込みなのだが、これが今インターネット上で、「泣ける」「感動した」と大きな注目を集めている。



「日本の友人に笑われた。でも...」

発端は、ツイッターユーザーが2020年5月15日の投稿。「素晴らしくいい話」として口コミの内容を紹介したところ、翌16日昼までに10万件を超える「いいね」が寄せられるなど、大きな反響を呼んだのだ。

突然、ネットで脚光を浴びた口コミとは、どんな内容なのか。まずは、その書き出しを引用してみよう。

「『×××（投稿者の名前）、1週間しか日本いないのに、貴重な1回の食事をわざわざファミレスで食べる？おかしいだろ。』日本の友人に笑われた。でも僕はこの八丁堀ロイヤルホストのハンバーグ。日本来たら必ず食べる。」

投稿日は2016年5月。書き込んだのは、台湾から訪れたとみられる男性だ。プロフィールによれば、年齢は30代前半。日本語を勉強しているらしく、少しおぼつかない印象を受ける文章が特徴的だ。「1週間しか日本にいない」ということは、旅行か何かで来日していたの

だろうか。そう考えると、「なぜロイヤルホストに？」という友人の指摘も頷けるような気もする。

きっかけは5年前（2011年頃だろう）、彼が初めて1人で来日したときのことだった。東京駅から銀座のホテルに歩いて向かう途中、道に迷ってしまったという。当時はまだ、日本語を勉強する前だった投稿者。道行く人に英語で道を尋ねても、なかなか通じない。迷っているうちに空腹を覚えたというが、空港で両替した日本円も、移動費でほぼ使い切っていた。

見知らぬ土地でたった1人、日はどんどんと落ちていく。お金もないし、言葉も通じない。相当な不安を抱いていたはずだ。そんなとき、彼の目に飛び込んできたのが——「Royal Host」という英語の看板だった。



「思い出のハンバーグ」との出会い

恐る恐る、ロイヤルホストに入ったという投稿者。

ウェイトレスに道を尋ねると、笑顔で教えてくれたという。丁寧に地図まで書いて。さらにロイヤルホストではクレジットカードが使えることも知り、投稿者は「実際に涙が出る安心した」という。その時に食べたのが、口コミのタイトルにもある「思い出のハンバーグ」だった。

こうした経験から、投稿者は来日するたびにこの店を訪れ、ハンバーグを食べるのだという。仮に友人から笑われたとしても、そしてこの口コミは、次のような文章で締めくくられている。

「今日また同じのハンバーグ。黒い鉄板に乗ってパチパチ音がしていい香りだ。ソースの入れ物が少し変わったかな。お肉は変わらずおいしい。この店のハンバーグ食べ